

北海道の 学校図書館

発行 北海道学校図書館協会
 会長 新津 智哉
 事務局長 山口 朱美
<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/>
 印刷所 (株) 有 伸 商 会
 TEL (011)814-6211

北海道学校図書館協会 2024年度(令和6年度)の活動始まる

2024年度(令和6年度)の定期総会は、5月18日(土)にTKP札幌ビジネスセンター赤れんが前5階会議室を会場に開催されました。御来賓の皆様を代表して、北海道立図書館館長の堀籠様より御挨拶いただきました。北海道学校図書館協会の役員改選が行われ、新任の新津智哉会長、山口朱美事務局長をはじめ、役員が選出されました。(詳しくは3頁の役員一覧をご覧ください。)事務局校は、札幌市立山の手小学校に設置されます。



◆2024年度(令和6年度) 研究・事業活動計画◆

(1) 研究活動

1. 第46北海道学校図書館研究大会・帯広・十勝大会の準備・協力 [令和7年]
2. 第63回北海道図書館大会の開催・協力 [令和6年9月7日(木)8日(金)]
3. 第57回北海道学校図書館研修講座の開催 [令和7年1月7(火)8日(水)2日間]
4. 各支部及び関係機関(読進協・全国SLA・道立図書館等)との協力研究
5. 全道研究部長会の開催 [令和6年9月14日15日、令和7年1月7日8日]
6. 事務局研修会の開催 [必要に応じて随時開催]
7. 全校読書活動や朝読書、学校図書館の活用を推進している実践校の把握と情報交流の推進
8. 『実践資料集 学校図書館☆学び方の指導ワークシート集』の活用
9. 北海道地区セミナーの開催検討(支部研究会を拡大して)

(2) 組織・運動活動

1. 全国SLA機関誌『学校図書館』の購読、普及促進SLBAの加入促進と活用普及
2. 支部組織強化と道事務局(幹事)拡大の取り組み・支部研究会・研修会、その他研究会への講師派遣・全道への情報発信・提供・道事務局(幹事)の組織拡大
3. 各支部間の情報交流(広報・ホームページ・全道研究部長会など)
4. 機関紙『北海道の学校図書館』326号～329号4回発行
5. ホームページの効果的な運用と情報交流の促進
6. 「子どもの読書活動推進計画(第5次計画R5～R9)」実体化のための活動の展開
7. 司書教諭の配置促進と図書館担当者の組織化
8. 「読書の時間」を活用するなど読書活動の推進

9. 「朝読書」の啓発・普及

10. 学校司書の実態調査と配置拡大の要請に関する取組
11. 「学校図書館図書整備費」の完全消化のための活動の展開、全国パンフレットの活用
12. 学校図書館への新聞購入の取組

(3) 普及・事業活動

1. 第70回青少年読書感想文全道コンクール、第50回北海道指定図書読書感想文コンクールの開催
2. 第36回読書感想画中央コンクール・第12回読書感想画全道コンクールへの参加・開催
3. 令和6年度版読書感想文集『北海道の読書』の発行・普及
4. 優良図書選定研修会 毎月2回(札幌市教育委員会3階入札室)
5. 毎月の優良図書の紹介(令和6年4月～令和7年3月)
「夏休みにおすすめする図書」選定・紹介
「冬休みにおすすめする図書」選定・紹介
6. 令和6年度版『北海道青少年のための200冊』の普及
7. 第50回北海道指定図書の普及、第51回北海道指定図書の選定

(4) 協賛・協力活動

1. 第52回中学生作文コンクール審査協力(事務局・6地区)
2. 第46回全道高等学校図書研究大会(高文連)空知支部への協力
3. 優良出版図書の推薦
4. 公共図書館・および図書館に関わる各種文化行事等への協力・援助
5. 優良児童図書展示会への協力(トーハン、シーピーエス、学協など)
6. トーハンブックフェア2024年への後援

会長挨拶

学校図書館で確かな学びと豊かな心を

北海道学校図書館協会会長 新津智哉

(札幌市立北辰中学校長)



この春に行われました定期総会におきまして、前任の佐藤正行会長の後任として北海道学校図書館協会の会長を拝命いたしました。誠に微力ではございますが全力を傾けて職務を遂行する所存ですので、関係の皆様にはこれまで同様に御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、私どもが毎日新聞社北海道支社様とともに主催しております青少年読書感想文全道コンクールは今年度で第70回を数えることとなりました。また、同じく北海道指定図書読書感想文コンクールも第50回を迎えることとなり、当協会が長きに渡って築き上げてきた歴史の重みとこれまでに子どもの読書推進のために力を注いでこられた諸先輩方の御努力の大きさを感ぜずにはずいられません。

コロナ禍を経て、学校教育の世界は大きな転換期を迎えております。とりわけ一人一台端末の配置をはじめとするICTの活用は不可逆的に進んでおり、子どもたちの読書活動や学校図書館の利活用の仕方にも少なからず影響を及ぼしています。しかしながら、そのような時代だからこそ、全ての校種において学校図書館を最大限に活用することで子どもたちがより適切に情報を取捨選択し、それをもとにして自らの課題を主体的に解決して新たな情報を創り出し、発信していく力を育てていくことがとても重要になると考えております。

2026年8月には第45回全国学校図書館研究大会を札幌で開催し、全道はもとより日本全国の多くの皆様をお迎えして知見を共有し実りある大会にするべく運営委員会が準備を進めております。北海道学校図書館協会は今年度も子どもたちの「生きる力」育成の一端を担い、確かな学びと豊かな心を育むために一層力を尽くしてまいります。今後とも従前にも増して皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

事務局長挨拶

私と読書・図書館 今後につなげて

北海道学校図書館協会事務局長 山口朱美

(札幌市立山の手小学校教頭)



この度の総会にて、北海道学校図書館協会事務局長をお引き受けすることになりました。実際には、総会に向けて、前事務局長（現会長）より、引継ぎを受けておりましたが、その業務の大きさや、多岐に渡ることを実感するにつれ、私に務まるのだろうか、不安ばかりが大きくなります。さらに、歴代の事務局長の先生方のお仕事ぶりやお人柄を思うと、自分がこの役職をお引受けしてもよいものだろうかと思縮するばかりです。

一方で、これまでの、私と読書・図書館の繋がりを思い返すとき、大きなお仕事をさせていただけるのなら、図書館に関することであって本当に有難いとも感じております。

私が小学生であった当時、毎年、一学期も後半になった頃、決まって読書感想文を書くことに取り組んでおりました。主人公やそれを取り巻く人物・出来事に対して思いが深まり、自分自身と比較したり、何度も思考を巡らせたりしながら、それを文章にまとめていったことを思い出します。そして、当時の担任の先生のご指導の下、何度も、何度も推敲を重ねていきました。こういった過程を与えてくれる本たちと出会えたこと、熱心に指導くださる先生と出会えたことは、幸せなことだったのだと、大人になってから感じたものです。

また、教員として仕事を始めてすぐの頃、駆け出しにもかかわらず、学校の図書館担当を任せられました。中休みや昼休み、図書館に子どもたちがたくさんやってきて、思い思いに本を探し読んでいる姿を見るとき、図書館が子どもたちでいっぱいになるとき、私自身、本当に充実した気持ちになったことを今でも覚えています。当時、数年後には、12学級以上の学校に「図書館司書教諭」をおこななければならないことになると言われた頃でした。これをきっかけに、大学での講習を受け、さらに3年間の実務研修を積むことで、「学校図書館司書教諭」の資格を取得しました。私の子どもの頃の経験や教員としての思いが、多少なりとも、子どもの読書活動の向上、北海道SLAの活動の充実、そして2年後に迎える『第45回全国学校図書館研究大会札幌大会』に繋がるのであれば、これ以上うれしいことはありません。

ICTとのベストミックスを模索する図書館運営は、新しい時代を迎えたと言っても過言ではないでしょう。北海道SLA各支部、学校図書館に関わる皆様や団体・企業、そして北海道SLA事務局、皆様のご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

2024年度（令和6年度）北海道学校図書館協会役員

Table with 3 columns: 役職 (Role), 氏名 (Name), 所属学校名 (School Name). Rows include 会長 (President), 副会長 (Vice President), 監査 (Auditor).

Table with 3 columns: 役職 (Role), 氏名 (Name), 所属学校名 (School Name). Rows include 理事長 (Chairman), 理事 (Council Members).

Table with 3 columns: 役職 (Role), 氏名 (Name), 所属学校名 (School Name). Rows include 事務局長 (Secretary General), 次長 (Deputy Secretary General).

Table with 3 columns: 役職 (Role), 氏名 (Name), 所属学校名 (School Name). Rows include 総務部 (General Affairs), 研究部 (Research), 選定部 (Selection), 事業部 (Business).

2024年度（令和6年度）北海道学校図書館協会役員

Table with 6 columns: 支部 (Branch), 会長 (Chairman), 勤務先 (Employer), 事務局長 (Secretary General), 勤務先 (Employer), 勤務先電話 (Employer Phone). Lists various branches and their representatives.

2024年度(令和6年度) 北海道の先生がおすすめする本

北海道指定図書

小学校低学年の部(1・2年)



あおをはっけんしたちいさなヤン
 みならい えかきの おはなし
 ジャン・リュック・アングルベール/作 はしづめちよこ/訳
 イマジネーション・プラス 1,870円
 昔画は貴重な絵の具でした。偶然簡単に作る方法が発見され、青は浮世絵等にも使われました。



いつかきつと
 アマンダ・ゴーマン/文 クリスチャン・ロビンソン/絵
 さくま ゆみこ/訳 あすなる書房 1,650円
 こまったことがあるときどうする？ どうしようもないこととあきらめないで…！ ささやかだけど力強い愛と希望の物語。



いえ あるひせんそうが はじまった
 カテナ・ティホゾーラ/作 オレクサンドル・ブロードン/絵
 すぎもと えみ/訳 汐文社 1,870円
 ぼくはこのいえに、パパとママといぬとすんでいた。でも、あるひ…。ウクライナで続く戦争でいえをうばわれた男子の物語。



そんなことも知らないの？
 パク・ジョンソプ/作 なかやま よしゆき/訳
 フレーベル館 1,760円
 ウソの情報にだまされてパニックのサカナたちをユーモラスに描き、フェイクニュースに動揺する社会を風刺した絵本。

小学校中学年の部(3・4年)



錦鯉を創る
 新潟から 世界へ
 松沢 陽士/写真・文 小学館 1,430円
 江戸時代に誕生し、今やその美しさで世界中に愛される錦鯉。錦鯉を育み、新品種に挑戦する養鯉場に密着した写真絵本です。



**夢への扉を開け!
 町田瑠唯**
 ベースボール・マガジン社/編
 ベースボール・マガジン社 1,980円
 東京五輪で銀メダルを獲得した女子バスケの立役者・町田瑠唯さんのあゆみを追いました!



じゅげむの夏
 最上一平/作 マメイケダ/絵
 佼成出版社 1,650円
 四年生の夏休み、難病を抱える親友のために一致団結した少年たちが、いのちを謳歌する姿をみずみずしく描いた童話。

中学校の部



あした、弁当を作る。
 ひこ・田中/著
 講談社 1,540円
 中学生男子の反抗期を「弁当作り」というユニークな切り口で描いた児童書。ユーモアたっぷりの反抗期の心情は必読です。



夜空にひらく
 いとう みく/著 杉山 巧/装画
 アリス館 1,760円
 暴力事件をおこした円人は、花火師の深見の家で暮らすことに。人の優しさ、あたたかさを知り、居場所を見つけていく。

小学校高学年の部(5・6年)



ぼくはうそをついた
 西村 すぐり/作 中島 花野/絵
 ポプラ社 1,650円
 戦争を、どこか遠い昔の事のように感じていたリョウタ。祖父の話をきっかけに、今も消えない原爆の傷について考えます。



給食が教えてくれたこと
 「最高の献立」を作る、ぼくは学校栄養士
 松丸 爽/著
 くもん出版 1,540円
 「最高においしい!」給食を作るため、壁にぶつかりながらも挑戦を続ける現役栄養士の熱血お仕事ノンフィクション。



図書館がくれた宝物
 ケイト・アルバス/作 榎田 理絵/訳
 徳間書店 2,090円
 第二次大戦下、ロンドンから疎開した両親のいないさようだいは、親代わりにする人を求め…? 心あたたまる物語。



北海道の本を読みましょう!



第70回 青少年読書感想文全道コンクール 第50回 北海道指定図書読書感想文コンクール

- 主催 / 北海道学校図書館協会・毎日新聞社北海道支社
- 後援 / 北海道・北海道議会・北海道教育委員会・公益財団法人北海道青少年育成協会
- 選定協力 / 北海道読書推進運動協議会

●第56回北海道学校図書館研修講座に参加して

「今こそ、学校図書館でレファレンスを！」に参加して

札幌市立札幌中学校 学校司書 坪谷 美幸

この講義会場は、来年の令和6年3月に閉校が決まっている札幌聖心女子学院にて行われました。バスを降り、坂を上ると、一度訪れてみたかった歴史ある校舎が見えてきました。この日の研修の流れは、新田裕子氏の講義、館内見学、レファレンス演習、午後から演習の続きを行いました。

講義では、「学校図書館のレファレンス」「調べる力を育てるための図書館の支援（利用指導、図書館指導を活用する調べ学習）」について、あらためて指導いただきました。「きちんと分類された蔵書があって初めてレファレンス業務が可能になる！」中学校のレファレンスブック、資料の再点検を行いたいと思いました。

午前中の講義を踏まえた午後からの図書館を利用した演習では、参加者にそれぞれ違う5問のレファレンス問題が出されました。その中から一つご紹介すると、〔ストレイ・シープ (stray sheep) とは何のことか。またその言葉の出典は。〕図書館の本を使い実際に答えを探していく作業です。なかなか難しくヒントをいただいてやっと回答へ。しかし、時間内に全て終わることができませんでした。全参加者に違う問題となると80問にもなり、それを全て自館の本で探し出せるか確認してくださった事を考えると感謝しかありません。

中学校でのレファレンスサービスの充実をと思い参加した研修講座、朝からの講義を終えた充実感と閉校に伴い閉館してしまう歴史ある図書館に寂しい思いを胸に、帰路につきました。

この講義のために準備してくださった方々に心から御礼申し上げます。

●第56回北海道学校図書館研修講座に参加して

「学びは心の宝物」

北海道室蘭工業高等学校 実習助手 大住 千佳子

私が本格的に図書館業務に携わるようになったのは今から11年前の前々任校に赴任したときのことだった。学生時代に図書館司書の資格は取得してはいたが、それまでは学校図書館での仕事はほぼ経験が無く、不安を抱えていたときにこの研修講座を知り藁にもすがるといえるような気持ちで申込みをしたのは昨日の日のことである。それからは都合がつく限り講座に参加してきたが毎回とても多くの学びがある。これは研修講座を企画運営して下さっている事務局の皆さんの努力の賜物だと感じている。

1日目は「GIGAスクール時代の学校図書館を考える」と題した講演から始まり午後は「楽しく進める情報活用能力の育成指導2023」を受講した。私自身が学んでいた頃とは内容の違う小中学校の国語の教科書に驚きつつも、どうやったら学校図書館が授業に活用してもらえるか考える良い機会となった。

2日目は札幌聖心女子学院で「今こそ、学校図書館でレファレンスを！」に参加した。過去にも札幌市中央図書館や他の図書館でのレファレンスには参加したことがあったが、学校図書館でレファレンス体験をするのは初めてだったので実際に必要な資料はどのようなものか、自校の図書館に不足しているのはどのような資料なのかがよく理解できた。調べる楽しさに改めて魅了され、時間が経つのも忘れてレファレンス体験にどっぷり浸かった一日だった。この体験は是非生徒にもやらせたいと思い早速冬休み明けの部活動で生徒に体験させた。最後にどういった本から探せば見つけやすいかを紹介すると局員たちも調べることの楽しさやコツが理解できたようで大変満足していたようだった。

3日目は「図書館資料の活用とその指導～中学・高等学校」でタブレットと図書館資料を利用した学校図書館の施設紹介の実践（ゲーミフィケーション）について討議した。大変素晴らしい実践内容で、司書教諭・学校司書・教科担当教諭の連携と準備の大変さに感心させられた。だが、発表者の話を聞いているとその苦労も生徒の楽しむ姿を目の当たりにすると吹っ飛んでしまうのだろうと感じた。生徒が調べる楽しさ、知る喜びに浸っている時間を共有できることは学校図書館に携わる職員にとって一番のしあわせだと私は思っている。

この講座で学んだこと全てが自校の図書館で実践できるものであればそれに越したことはない。だが、それぞれの学校によってできることは限られているし、人材や時間を確保することが難しいこともあると思う。私も講座に参加し初めのころは理想的な実践に感心しながら「自校ではできないな」と後ろ向きな感情に囚われることが多々あった。でも今は学んだことを自校の図書館に反映させるなら何が可能なのか考えてみるようになった。

学校司書の仕事は1校に一人が基本で特に高校の学校司書には学習会に参加する機会が少ない。色々な不安や相談をする機会が持てるこの研修講座は大変貴重な場であると感じている。

自身の宝物を増やすため、そして生徒たちに宝物を見つけてもらうために、今後もこの研修講座に参加したいと思っている。



第44回 全国学校図書館研究大会 (高松大会) ご案内

- 1 主催 香川県教育委員会 高松市教育委員会 香川県学校図書館協議会
公益社団法人全国学校図書館協議会
- 2 共催 香川県小学校教育研究会 香川県中学校教育研究会 香川県高等学校教育研究会
- 3 後援 文部科学省 香川県 高松市
- 4 協賛 香川県小学校長会 香川県中学校長会 香川県高等学校長協会
- 5 賛助 日本児童図書出版協会 YA出版会
- 6 テーマ 「新時代の学びを支える学校図書館」
- 7 趣旨 2024年度から「GIGAスクール構想第2期」(NEXT GIGA)が始まり、児童生徒等が所有しているタブレット端末等が整備・更新され、さらに教育活動のAI導入が加速化されるなど、学校教育も激変の時を迎えています。一方、デジタル技術の進展は、これまで大切にされてきたアナログなものの価値を再認識する契機ともなっています。予測困難な時代を生き抜く力の育成が求められる教育の場において、アナログ、デジタルの両方の基盤となり「新時代の学び」を支える学校図書館は、これまで以上に重要になります。また、多様性の時代でもあります。そうしたことにも対応し、学校図書館の役割を果たすためには、学校現場における日々の実践が欠かせません。全国各地の実践や研究を知り、時代の変化に対応したこれからの学校図書館の在り方について学びます。
- 8 期日 2024 (令和6) 年8月8日 (木)・9日 (金)
オンデマンドによる分科会の配信は8月10日 (土)～8月31日 (土)
※対面で行う全体会・分科会とは別にオンデマンド配信の分科会を行います。参加申込された方は上記の期間に動画を視聴できます。
8月8日 (木)・9日 (金)の開催式、全体会、記念講演、分科会等は対面開催のみの実施となります。
児童書、図書用品等展示分科会につきましては、8月7日 (水)～9日 (金)の3日間 (8月7日は午後のみ)実施します。
- 9 会場 サンポートホール高松 (香川県高松市サンポート2-1)
- 10 受付 2024年8月8日 (木) 10:00～10:30 サンポートホール高松 大ホール ロビー (4F)
- 11 開会式 2024年8月8日 (木) 10:30～ サンポートホール高松 大ホール
- 12 参加者 学校図書館に関心のある方ならどなたでも参加できます。

第70回 青少年読書感想文全国コンクール 課題図書

	著者名	書名	出版社	定価(税込)
小学校低学年	あずみ 虫作	アザラシのアニュー	童心社	1,650円
	ささき みお 作・絵	ごめんねでてこい	文研出版	1,320円
	マヤ・マイヤーズ ぶん ヘウオン・ユン え	おちびさんじゃないよ	イマジネーション・プラス	1,870円
	まえざわ あきえ やく	どうやってできるの?チョコレート	ひさかたチャイルド	1,430円
	田村 孝介 ほか 写真	いつかの約束1945	岩崎書店	1,430円
小学校中学年	山本 悦子 作 平澤 朋子 絵	じゅげむの夏	佼成出版社	1,650円
	最上 一平 作 マメイケダ 絵	さようなら プラスチック・ストロー	光村教育出版	1,760円
	ディー・ロミート 文 ズユエ・チェン 絵 千葉 茂樹 訳	聞いて聞いて! : 音と耳のはなし	福音館書店	1,760円
	高津 修、遠藤 義人 文 長崎 訓子 絵	ぼくはうそをついた	ポプラ社	1,650円
	西村 すぐり 作 中島 花野 絵	ドアのむこうの国へのパスポート	岩波書店	1,980円
小学校高学年	トンケ・ドラフト、リンデルト・クロムハルト 作 リンデ・ファース 絵 西村 由美 訳	図書館がくれた宝物	徳間書店	2,090円
	ケイト・アルバス 作 櫛田 理絵 訳	海よ光れ! : 3・11被災者を励ました学校新聞	国土社	1,540円
	田沢 五月 作	ノクツドウライオウ : 靴ノ往来堂	あすなろ書房	1,650円
中学校	佐藤 まどか 著 キース・カラブレゼ 著 代田 亜香子 訳	希望のひとしづく	理論社	1,980円
	江口 絵理 著	アフリカで、バッグの会社はじめました : 寄り道多め仲本千津の進んできた道	さ・え・ら書房	1,650円
高等学校	伊与 原新 著	宙(そら)わたる教室	文藝春秋	1,760円
	ファン・ヨン ミ 作 キム・イネ 訳	優等生サバイバル : 青春を生き抜く13の法則	評論社	1,650円
	太田 ゆか 著	私の職場はサバンナです!	河出書房新社	1,562円

第70回 青少年読書感想文全道コンクール
第50回 北海道指定図書読書感想文コンクール

応募のきまり

2024年度(令和6年度)

1 ● 目的

- (1)北海道に住む青少年に広く読書を奨励し、明日の社会を背負うにふさわしい人間の育成をはかる。
(2)読書は、人間形成に寄与する部面が多くあり、このことから読後に自分を考えさせ、自己の生活の充実をはかり、豊かな心情の育成につとめる。

2 ● 主催

北海道学校図書館協会・毎日新聞社北海道支社

3 ● 後援

北海道・北海道議会・北海道教育委員会・公益財団法人北海道青少年育成協会

4 ● 応募資格

満20歳(2004年4月2日以降出生の者)までとする。

5 ● 対象図書

- (1)自由(読書)——自由に選んだ図書。フィクション、ノンフィクションを問いません。
(2)課題(読書)——[課題図書]公益社団法人全国学校図書館協議会が指定した図書
(3)指定(読書)——[北海道指定図書]主催者の指定した図書

6 ● 区分

- (1)小学校低学年の部(1、2年)
(2)小学校中学年の部(3、4年)
(3)小学校高学年の部(5、6年)
(4)中学校の部
(5)高等学校の部

7 ● 応募締切

- (1)各支部締切 2024年夏休み明けから9月中(支部毎に設定しますので北海道学校図書館協会のホームページを必ずご確認ください)
(2)北海道締切 2024年10月8日(火)必着
※自筆の応募作品で、最終まで審査を行います(返却はしません)。お手元にコピー等をとられてから、ご応募ください。

8 ● 字数

- ①400字詰原稿用紙使用、校名等記入されたものを使用しないこと。②小学校低学年800字以内、小学校中・高学年1,200字以内、中学校・高等学校2,000字以内、③句読点1字、改行のための空白箇所は字数として数える。④規定の文字数に達しない、字数の少ない、短い作品は道審査では対象にはなりません。制限字数いっぱい書いてください。

9 ● 応募作品

- (1)各対象(図書)ごと一人1点未発表のもの。複数作品応募可。在籍学校を通じ(校内審査後)市、町、地区各支部に提出のこと。支部の確認等はホームページをご覧ください。(6月以降、今年度の支部明記)北海道学校図書館協会でご確認ください。
(2)支部のない場合は、直接北海道学校図書館協会へ。支部からの応募には点数枠があります。直送の場合にも厳選の上、ご応募ください。
送り先=〒001-0018 札幌市北区北18条西2丁目2-1
[親展] 札幌市立北辰中学校 校長 新津智哉
TEL 011-716-6151 FAX 011-716-4172
(3)作品は自筆のこと。(コピーは不可、自筆不可能な場合は理由を添える)
(4)必要事項を応募票に記入し、作品の右上にとじる。
(5)作品(原稿用紙)には、ますの外に感想文の題名のみを記入し、直接文を書き出すこと。学校名、学年、氏名等を書かないこと。

10 ● 入賞発表

- (1)支部——10月中旬に各支部ごとに発表
(2)全道——11月中旬、受賞者、該当学校長、各支部に連絡
12月上旬、新聞発表等

11 ● 表彰式

2024年12月8日 日曜日 特別賞・学校賞の受賞者
於：札幌市内ホテル

12 ● その他

応募作品には必ず応募票(全国の様式に準ずる)をつけること。応募票には、必要事項をもれなくはつきりと記入すること。(本人、保護者が記入する)応募票の児童生徒氏名は正しい表記で。(入賞の際、その字で賞状を作成します)

Form for application ticket (応募票) including fields for title, address, school, age, name, and publisher. Includes instructions and a vertical label 'キリトリセン'.

学校図書館情報

■令和6年度北海道学校図書館協会 定期総会開催

5月18日(土)に、TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前(札幌市中央区北4条西6丁目1 毎日札幌会館5F)を会場として、「北海道学校図書館協会 令和6年度定期総会」が開催されました。北海道立図書館の堀籠康行館長様をはじめとするご来賓(北海道教育庁生涯学習推進局、北海道青少年育成協会、トーハン北海道支店、日本出版販売北海道支店、キハラ㈱、図書館ネットワークサービス、北海道通信社)の皆様、全道各地から5支部(札幌、苫小牧、帯広、函館、空知)、役員、幹事など約40名の参加がありました。

事務局・総務部・研究部・選定部・事業部の各活動報告及び今年度の活動計画案、会計決算・監査報告、さらに、今年度予算案、本協会会則、研究大会規定について、2026年「全国学校図書館研究大会札幌大会」についての骨格も提案がなされました。続けて、新役員の選考、すべてにおいて承認を受けました。

参加各支部より、昨年度開催された「第45回北海道学校図書館研究大会苫小牧大会」の報告、次回、令和7年度は帯広にて開催されることについて提案がなされました。札幌・函館・空知の各支部から、近況について報告がありました。

北海道教育庁の長岡様からは学校図書館の役割と重要性についてご挨拶いただき、北海道立図書館の堀籠様からは学校向けサービスについて情報提供をいただきました。

今後も一層綿密な連絡体制づくりを進めながら、関係各位、各支部会員とのつながりを深めていく所存です。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

■令和6年度「北海道青少年のための200冊」リスト

選定部による選定作業の努力の結果、新たに47冊の入替えができました。北海道青少年育成協会から6月中に、道内すべての学校・公共図書館・教育委員会等に配布されます。北海道の子どもたちにぜひ読んでもらいたい良書のリストです。図書購入の際に参考としてご活用いただき、普及についてのご協力をお願いいたします。

■「北海道指定図書」の普及・活用を!

「北海道指定図書」の学校図書館での購入を広げましょう。読書感想文コンクールの課題図書と一緒に購入し自校の図書館に備えることで、読書感想文コンクール応募への意欲喚起につなげてください。北海道のどこの学校図書館でも、「北海道指定図書」を読むことができる環境づくりをぜひお願いいたします。

■第52回「中学生作文コンクール」への応募を!

このコンクールは、中学生として未来社会のあるべき姿や将来の生き方などを考えてもらうことにより、健全な心の育成を図ることを目的としています。今年のテーマは「20××年、何してる?」です。応募要項はHBCから発送となります。応募期間は7月1日~9月18日。表彰式は1月に全道5か所で行われる予定です。多くのご参加をお願いします。

事務局

事務局長 山口 朱美(札幌市立山の手小学校教頭)
事務局校 札幌市立山の手小学校
〒063-0835 札幌市西区山の手5条6丁目1-1
TEL 011-621-0439 FAX 011-613-1957

Amenity B-Coat

本の破損や汚れを防ぎながら、抗菌効果を発揮するブックカバー「アメニティBコート」ポリプロピレンフィルムのため、燃焼時にも塩素ガスなど有害物質が発生せず、安心です。ご指定の上ご愛用下さい。



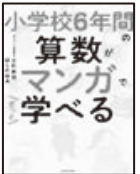
キハラ株式会社

〒062-0035 札幌市豊平区西岡5条3丁目8-15
TEL (011) 857-3331
FAX (011) 857-5211

■選書のためのワンポイントアドバイス

「学校図書館にあったらいいな!算数・数学の本」

NDC:410数学の棚に、何冊の本がありますか?~どこの学校でも、とても少ないように感じます。算数が嫌いな子を、なくしましょう~

	考える力が身につく!好きになる 算数なるほど大図鑑 監修:桜井 進 ナツメ社 2014年12月 3,080円
	数字に強くなる 編:旺文社 マンガ・イラスト:関 和之 旺文社 2017年2月 935円
	小学校6年間の算数がマンガでざっと学べる 著:ほしの ゆみ、小杉 拓也 KADOKAWA 2017年2月 1,320円

※リストの一部です。

科学読物研究会・科学道100冊・絵本ナビより参照し、北海道SLA事務局メンバーからのリストを加え、事務局次長野村がまとめました。HPに掲載。ご活用ください。

編集後記

MLBで活躍する大谷翔平選手の輝かしい姿が、報道されています。どの子どもも、大谷選手のような、大きく明るい未来を思い描いてほしいものです。それに向かって、好きなこと、興味のもてることに夢中になる姿は貴重なものと感じます。

協会においても、子どもたちがますます意欲的に読書活動に取り組めるよう各事業を進めてまいります。引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

(編集:村山 知成 野村 邦重)
大久保 雅人 山口 朱美)

ホームページアドレス

<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/>